

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市炭川町三丁目5番地7
 (炭川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

昭和の東南海地震
 東海道沖...海溝型地震

- ◆1944年(昭和19年)12月7日13時36分頃発生M7.9
- ◆愛知・静岡・三重などで死者・行方不明者1,223人
- ◆住家全壊17,559棟、半壊36,520棟、流失3,129棟
- ◆各地に津波襲来(熊野灘沿岸6~8メートル、遠州灘沿岸1~2メートル)
- ◆紀伊半島東岸地盤沈下



歴史はくり返す

災害時にボランティア「災害ボランティア旭」(高橋賢一会長)の活動先を調整する「ボランティア尾張」が発足し、尾張旭市中

災害時のボランティア先調整 尾張旭に新組織発足



災害ボランティアコーディネーター尾張旭(高橋賢一会長)



「ボランティア尾張旭 設立総会」

会員の増員は、おおよそ二年後には倍になるという事は間違いないだろうであるが、この人達をどう活動させるかが問題である。

ボエチアコーディネーター講座も受けたい、各々の場所での指導にあたりたい、積極的に活動することが、私達の目的である。

会員が指導者となり、又指導された人達が指導者になる循環型災害対策を考案することが大きな目標の一つになる。

中央公民館で二日、設あつたことから、教訓立総会が開かれた。を生かそうと設立した。メンバーは市社会ランティアが応援に駆けつけた。市災害救援ボランティアコーディネーター養成講座の受講生配置できない自治体が二十四人。

平時は防災への啓発や被災地支援に力を入れる。災害発生時は市や自治会などと連携し、ボランティアの受け入れ先を調整する。総会後には、災害ボランティアコーディネーターの高橋賢一代表が講演した。(水越直哉)

平成二十五年二月三日(日)午前十時から十二時迄炭川福祉センター「災害ボランティアコーディネーター」尾張旭設立準備本員会を開催。役員幹事の決定をした。サポーターとして災害ボエチアコーディネーターの高崎氏、椿氏が協力立ち上げに後押しをしてもうい、会員の意気も盛り上げた。

備えよう
 知るだけでもは
 もう遅い



デジタルを両手で意見交換は志気も高めだ。